

請 願 文 書 表

(令和2年3月18日)

<p>受理番号・受理年月日及び件名</p>	<p>請願第8号(2.3.10) 国会等に対し、台湾の世界保健機関及び国際民間航空機関へのオブザーバー参加を支持すること等を要請する意見書提出を求める請願</p>
<p>請 願 の 要 旨</p>	<p>新型コロナウイルスの感染による「COVID-19」の発症は日々拡大している。世界保健機関(以下「WHO」という。)は、公衆衛生上の緊急事態を宣言した。WHO事務局長は「世界全体に非常に重大な脅威」だとし、ワクチンの用意は1年半以内に整うと発表した。ワクチンが整うまでの間も人々は国境を越えて往来し、ボーダーレス化した現代においては各国の連携は必須である。その連携においては決して地理的空白を発生させてはならない。しかし、2,300万人の人口を抱える台湾は、WHO等に参加できておらず、まさに地理的空白となっている。かつて台湾では、平成15年にSARSが流行した際、非加盟国であることを理由にWHOから防疫情報を随時得ることができず、医療従事者を含む多くの人々がSARS感染によって死亡した。</p> <p>世界保健機関憲章が掲げる「万人」と「すべての人民」には、台湾人も含まれることを請願者は心より願うものである。</p> <p>現在、台湾における在留日本人は2万人を超え、日本と台湾の間を往来する旅客は昨年年間延べ710万人を超えている。また神戸市においても、多くの台湾人観光客やビジネスマンが訪問し、多くの台湾人が在住している。このように台湾は、航路、金融、観光、商業、貿易などのハブであり、台湾を離着陸又は経由する旅客は6,900万人近く存在することを踏まえれば、WHOや国際民間航空機関(ICAO)を始めとする国際機関に台湾が参加できないことは、日本だけでなく全世界の人々の健康を脅かしかねない。</p> <p>長年にわたって日本と台湾の友好親善、都市間連携に取り組んできた神戸市会においては、在神台湾人の思いに応えていただきたい。</p> <p>よって、台湾がWHO及び国際民間航空機関(ICAO)へオブザーバー参加することを支持し、協力することを求める意見書を国会及び政府に提出するよう請願する。</p>
<p>請 願 者 の 住 所 及 び 氏 名</p>	<p>神戸市中央区 中華民国留日神戸華僑總會 會長 陸 超</p>
<p>紹 介 議 員 の 氏 名</p>	<p>(代表) 外 海 開 三 川 内 清 尚 藤 本 浩 二 上 畠 寛 弘</p>
<p>付 託 委 員 会</p>	<p>総務財政委員会</p>